



10月5日 東地申第24号

「営業統括センターの設立(第2期)について」に関する申し入れ【池袋営業統括センター】を行う!

これまで、中野営業統括センターが設立されてきましたが

**現状の人材育成の課題を考えると、
今後は、より業務を熟知・精通した社員が
教育・育成を担うことが重要!**

営業統括センターでは、このようなエキスパートが育成できる環境でなければなりません。

池袋営業統括センター設立に向けたワーキンググループ(WG)では、

設備 見習い 作業ダイヤ など、様々な内容で議論が進められていますが…

参加する社員が意見を言える雰囲気ではない

「全社員が参画し施策を担っていく」からは程遠い現実!

見習い計画なども明らかにならず、不安が広がっている!



提案時の議論
TOKYO MAIL NEWS
NO.020

**「WGで議論をしている内容は隠すものではないし、
全社員に伝えていく」のではなかったのか?**

これでは施策の目的である『社員のための施策』

『社員の幸福の実現』は実現できない!



2021年度東地申第64号
TOKYO MAIL NEWS
2021 NO.339

<申し入れ内容>

1. 池袋営業統括センターを設置する目的と今後の方向性について具体的に示すこと。
2. 池袋営業統括センターにおける、人材育成の考え方を具体的に示すこと。また、全ての担務が揃う池袋駅を教育の拠点とすること。
3. 見習いについては駅の特情や習熟度を加味し、一律の見習い回数とせずに習熟度を見極め実施すること。
4. 池袋営業統括センターにおける必要な全ての業務については、改めて全社員への教育を実施すること。
5. お客様の安全確保や安定輸送を確実にできるホーム体制を構築すること。
6. 安全とサービス品質の向上を実現するために、社員間のコミュニケーションを図り、業務を円滑に進めることのできる体制を構築すること。
7. 制服を着用し駅相互間を移動する際の考え方を示すこと。また、貸与品を保管するための個人用ロッカーの整備について考え方を示すこと。
8. ロッカーや休憩室、寝室などの必要な設備を整備すること。また、池袋営業統括センター内3駅の設備や備品等の職場環境を平準化すること。

**設立が迫るも不透明なことが多すぎる! 社員が不安無く
業務や人材育成ができるよう、地本は団体交渉に臨みます!**